

研究紀要

第29号 平成28年 3 月

研究紀要

第29号 (平成二十八年三月)

京都女子大学宗教・文化研究所

目次

『浄土和讃講義』の翻刻(二)	普賢保之 戸田有香	1
源頼朝の挙兵と諸国の目代	野口実	39
<平成26年度 宗教・文化研究所公開講座講演録要旨>		
京都から鎌倉に集う人びと—武士政権を読みなおす—	岩田慎平	57
東国武士・寺院の活動と京都—千葉氏とその周辺—	湯浅治久	67
<平成26年度 仏教文化公開講座講演録>		
文明としての仏教 —大谷探検隊の偉業から見てきたこと—	入澤崇	75
単身化社会と無縁化社会の進行と葬送墓制と行政の対応 —大阪市と京都市の無縁者(仏)への葬儀・火葬・合祀・慰霊の事例研究—	榎村久子	97
ドイツ基礎学校(小学校)における家族に関する教育 —ヘッセン州の事例を中心に—	表真美 土井ギーゼラ	75
「正信念仏偈」データベースとeラーニングの構築—その2 越前4派の旋律収集と楽譜化	深見友紀子 黒田義道 遠山和大 赤羽美希	61
仏教讃歌の演奏についての再考—日本・ドイツ公演を経て—	ガハブカ 奈美	35
仏説をめぐる論争 —説一切有部からの大乘・世親批判—	秋本勝	17
オーケストラ編成による仏教音楽『悠久の風』	安村好弘	1

CONTENTS

Reprinting of <i>Jodo Wasan Kogi</i> 2	Yasuyuki FUGEN Yuka TODA	1
The Uprising of Minamoto no Yoritomo and the Mokudai (Deputy Provincial Governors) of Various Provinces	Minoru NOGUCHI	39
Public Lectures :		
A Study about the Government Officials of the Kamakura Shogunate from Kyoto, Mainly before the Jōkyū war	Shinpei IWATA	57
The Acts of Chiba Family ; a Vassal of the Shogun in the Kamakura Periodo and Temples in Kyoto	Haruhisa YUASA	67
Buddhism as a Civilization	Takashi IRISAWA	75
The Increase of Administration in a Funeral & a Tomb with the Progress of Single Life Society & Unrelated Society —A case study of the person who died leaving no one to attend to his grave in Osaka city and Kyoto City—	MAKIMURA Hisako	97
Family Life Education in German Primary School: A case of Hessen	Mami OMOTE Gisela DOI	75
Development of “Shoshin Nembutsuge” Database and e-Learning Material, Part2 : Exploration of Chants in “Echizen Four-Schools”	Yukiko FUKAMI Yoshimichi KURODA Kazuhiro TOYAMA Miki AKAHANE	61
Gedanken über die Aufführungspraxis Buddhistischer Hymnen —Erfahrungen aus Konzerten in Deutschland und Japan—	Nami GAHABKA	35
The Controversy over the Buddhist Teachings in <i>Abhidharmadipa</i>	Masaru AKIMOTO	17
A Buddhist Music for Orchestra “Yukyu no KAZE”	Yoshihiro YASUMURA	1

平成26年度事業報告

1 研究助成

I 「仏教文化及び宗教文化に関する研究」のテーマ部門

〈個人研究〉

① 「オーケストラ編成による仏教音楽の製作」

兼任研究員 安村 好弘

〈共同研究〉

① 「仏教讃歌にみられる言語理解と音楽的要素の研究

（演奏を通して）

研究代表者・兼任研究員 ガハプカ 奈美

研究協力者 竹内 公一

② 「『正信念佛偈』データベースとエラーニングの構築

―その2―

研究代表者・兼任研究員 深見 友紀子

研究分担者・兼任研究員 黒田 義道

研究協力者 野村 伸夫

遠山 和夫

③ 「香月院深励の『浄土和讃講義』の翻刻」

研究代表者・兼任研究員 普賢 保之

研究協力者 戸田 有香

II 「人文・社会・自然の各分野における研究」のテーマ部門

〈個人研究〉

① 「植物染料『Henna』の羊毛に対する染着性と挙動

の解明」

兼任研究員 坂田 佳子

〈共同研究〉

① 「ドイツ連邦共和国の初等・中等教育段階における

『宗教』および『家庭科』の現状」

研究代表者・兼任研究員 表 真美

研究分担者・兼任研究員 土井 ギーゼラ

② 「中世前期における吏僚系武士と、その地方社会にお

ける文化活動に関する研究」

研究代表者・専任研究員 野口 実

研究協力者 岩田 慎平

坂口 太郎

畠山 誠

山本 みなみ

2 公開講座

仏教文化公開講座

日時 平成二十六年十月十八日(土)

午後一時～三時三〇分

場所 京都女子大学 礼拝堂(A校舎5階)

- ・ 講題「文明としての仏教―大谷探検隊の偉業から見えてきたこと―」

講師 龍谷大学文学部教授 龍谷ミュージアム館長

入澤 崇

宗教・文化研究所公開講座

I 日時 平成二十六年六月二十八日(土)

午後一時～五時

場所 京都女子大学 J校舎420教室

テーマ「京に上る東国武士、鎌倉に集う都人」

(シリーズ 東山から発信する京都の歴史と文化⑩)

- ・ 講題「京都から鎌倉に集う人びと―武士政権を読みなおす―」

講師 立命館大学非常勤講師

岩田 慎平

- ・ 講題「東国武士・寺院の活動と京都―千葉氏

とその周辺―」

講師 専修大学教授 湯浅 治久

司会 本学宗教・文化研究所教授

野口 実

II 日時 平成二十六年九月二十七日(土)

午後一時～四時三十分

場所 京都女子大学 礼拝堂(A校舎5階)

- ・ 講題「親鸞聖人の〈三部経千部読誦〉から何を学ぶか」

講師 龍谷大学文学部講師 井上 見淳

- ・ 講題「二河白道のころろ」

講師 龍谷大学文学部教授 杉岡 孝紀

3 研究紀要「第28号」

研究発表

宗教教育考―浄土真宗の教義とその表現方法について―(二)

小池 秀章

治承・寿永内乱にともなう鎌倉勢力の鎮西進出について

野口 実

天然染料「ウコン」の色素クルクミンの染色性

「水・エタノール系染色を中心として」

4 研究所だより

坂田 佳子
宗教観と子育て・家庭教育
表 真美

「正信念佛偈」データベースとeラーニングの構築
「その1 五線譜化へのプロセス」

深見 友紀子他

仏教讃歌と讃美歌の比較と演奏「歌詞を中心に」

ガハプカ 奈美他

オーケストラ編成による仏教音楽『悠久の浪漫』

(2014)
安村 好弘

5 懸賞論文募集

テーマ

(京都女子大学・京都女子大学大学院生)

〈平成二十五年 度宗教・文化研究所公開講座講演録要旨〉
保元の乱から平氏政権崩壊までの摂関家について
樋口 健太郎
中世「近世における近衛家と島津氏の交流」
金井 静香

親鸞の思想、仏教思想や宗教思想等あるいは現代社会の直面しているさまざまな問題について、宗教の視点も加えて論評したもの。たとえば性差別や生命倫理の問題、地球環境、国際関係、ITの普及、少年犯罪やカルト宗教をめぐる問題などに関するもの。題は自由。また、エッセイの形式でも可。

〈平成二十五年 度仏教文化公開講座講演録要旨〉
お釈迦さまから阿弥陀さまへ
丘山 新

(京都女子高等学校校生徒)

- 1 私と宗教
 - 2 釈尊に学ぶもの
 - 3 親鸞聖人に学ぶもの
- 題は自由につけて下さい。

(京都女子中学校生徒)

1 私と宗教

2 おしゃかさまと私

3 親鸞さまと私

題は自由につけて下さい。

(京都女子大学附属小学校児童)

「ほとけさまのこと」「おしゃかさまのこと」「しんらんさまのこと」について書いてください。題は自由につけてください。

由につけてください。

(京都幼稚園園児)

みほとけさまの絵

平成二十六年 度 報 告

応募数 665 編

大学・大学院生

高校生

中学生

小学生

幼稚園

入選者 76 編

大学・大学院生の部

優秀作

秀作

佳作

努力賞

高校生の部

優秀作

秀作

佳作

中学生の部

優秀作

秀作

佳作

小学生の部

金賞

銀賞

幼稚園の部

入賞

6 宗教・文化研究所ゼミナール活動

ゼミナール

テーマ…中世前期の社会と文化

内容及び日時

①史料講読会

3 編

6 編

1 編

2 編

7 編

1 編

2 編

1 編

2 編

1 編

13 編

27 編

10 編

『吾妻鏡』講読（主に歴史学専攻者対象）

通年 毎週木曜日 午後三時～七時

『吾妻鏡』講読（主に国文学専攻者対象）

後期 月に1・2回 午後二時～五時

②研究発表会

平成二十六年四月十日

卒論発表会

「中世法制史料にみられる武力」

奈良女子大学大学院生 大島 佳代

「武士の倫理観―人を殺す精神―」

奈良女子大学大学院生 山浦 沙織

平成二十六年六月十九日

宗教・文化研究所公開講座の事前勉強会

平成二十六年九月十一日

書評会

『中世の人物 第二卷』

治承～文治の内乱と鎌倉幕府の成立』

野口実編

平成二十六年十月二日

書評会

『中世の人物 第三卷』

公武権力の変容と仏教界』平雅行編

平成二十六年十一月六日

研究報告会

「四国の治承・寿永内乱」

龍谷大学大学院生 下石 敬太郎

平成二十六年十二月四日

研究報告会

「崇徳上皇配流に関する考察」

奈良女子大学四回生 窪田 裕美

平成二十六年十二月二十日

公開研修会

「摂関期貴族社会における陸奥国の位置づけ」

宮城県立東北歴史博物館学芸員

滑川 敦子

③調査旅行

平成二十六年二月二十五～二十七日

ゼミメンバーの有志が個人旅行の形で、研究所共同研究による鎌倉調査旅行に随行。

④その他

平成二十六年六月二十八日に行われた研究所主催の公開講座に際しては、例年のように、その

実施にあたって積極的に協力し、講師との懇談会・懇親会を実施した。

7 その他

資料サービス

図書・視聴覚資料の貸出

編集後記

◇ここに「研究紀要」第二十九号を発刊する運びとなりました。ご協力いただいた先生方には、心より御礼申し上げます。今回も各先生方から、多岐にわたる研究分野の成果を寄稿いただき、深く感謝致します。

◇平成二十六年年度の宗教・文化研究所公開講座は「京に上る東国武士、鎌倉に集う都人」というテーマのもと、立命館大学講師の岩田慎平先生に「京都から鎌倉に集う人びと―武士政権を読みなおす―」と題して講演いただきました。また、専修大学教授の湯浅治久先生に「東国武士・寺院の活動と京都―千葉氏とその周辺―」と題して講演していただきました。

◇平成二十六年年度の仏教文化公開講座では、龍谷大学文学部教授の龍谷ミュージアム館長（当時）の入澤崇先生に「文明としての仏教―大谷探検隊の偉業から見てきたこと―」と題してお話いただきました。

◇いずれの公開講座もたくさんの聴衆にお越しいただき、それぞれの先生のお話を熱心に聞き入ってくださいました。主催者として御礼申しあげたいと思います。

◇今後とも多くの先生方に「仏教文化を中心に広く宗教と文化に関する研究を推進し、もって学術の発展に寄与することを目指す」という当研究所の設立趣旨をご理解いただき、多くの研究申請が出されるよう努めていきたいと考えています。

「研究紀要」第二十九号

平成二十八年二月十日 印刷

平成二十八年三月一日 発行

京都女子大学

宗教・文化研究所

所長 森田 真円

〒605-8503

京都市東山区今熊野北日吉町三五

電話 〇七五(五三)七〇七四(直通)

印刷所 株式会社 印刷 同朋舎

〒600-8655

京都市下京区中堂寺鍵田町二